

## TTC 定例山行実施記録

2024年3月15日 K.S 作成

1. 山行名	石老山 [702m/神奈川県]																
2. 実施日	2024年3月13日(水曜日) 日帰り マイカー利用																
3. 天候/参加人員	天候: 快晴 レベル: ★☆ 参加者: 14名(男性5名/女性9名)																
4. パーティスタッフ	省略																
5. 参加メンバ	省略																
6. 費用 1,300円/人	マイカー使用料: 80km x ¥10 x 2台 = ¥1600、燃料代: 80km ÷ 5km x ¥180 x 2台 = ¥5760 ドライバー謝礼: ¥5000 x 2台 = ¥10000 合計 ¥17360 ⇒ ¥17400 一人当たり: ¥1300、カンパ金: ¥800																
7. 歩行/行動時間	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>歩行時間</th><th>休憩時間</th><th>行動時間</th></tr></thead><tbody><tr><td>ガイドブック</td><td>4:05</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>計画</td><td>4:50</td><td>1:25</td><td>6:15</td></tr><tr><td>実行</td><td>4:25</td><td>1:10</td><td>5:35</td></tr></tbody></table>		歩行時間	休憩時間	行動時間	ガイドブック	4:05	—	—	計画	4:50	1:25	6:15	実行	4:25	1:10	5:35
	歩行時間	休憩時間	行動時間														
ガイドブック	4:05	—	—														
計画	4:50	1:25	6:15														
実行	4:25	1:10	5:35														

## 8. 実行コースタイム記録

本厚木	=== 各地ピックアップ ===	相模湖病院駐車場	—— 顕鏡寺 ——	桜山展望台 ——
7:30		8:30/8:45	9:00/9:15	9:45/9:50
融合平見晴台 ——	石老山山頂 ——	大明神展望台 ——	林道 ——	プレジャーフォレスト前
10:15/10:20	10:45/11:20	12:20/12:30	13:20	13:45
—— 相模湖病院	=== 途中ファミレスでお茶 ===	本厚木駅 (解散)		
14:20/14:30		16:30		

## 9. コースの概要、特記事項、反省事項等

前日しっかり降った雨もあがり、気温は低めであったが朝から晴天の天気です。平日にもかかわらず14名のメンバーが参加してくれ、ありがたいかぎり。Sさん、Aさんの大型車のマイカーに分乗して本厚木を7時30分に出発、相模湖病院駐車場に8時30分に到着した。ちょうど病院職員の出勤と重なり、どんどん車が入ってくる。職員の方が二人、病院から出てきて、「ここはだめです」と指示を受け、斜面の法面沿いにかろうじて空いていた2台分のスペースに停めた。平日催行ならもう少し早めに到着しないと、登山者用の数台の限られた駐車スペースが埋まってしまうリスクあり。

体操を済ませ、歩き始めて15分で古刹顕鏡寺に到着。トイレをお借りし、いよいよ山頂に向けて歩きはじめる。ここから両側に巨岩・奇岩がでてきて不思議な景色の連続。急登だが特に危ないところはない。数種類の野鳥がさえずり空気がすがすがしい。途中高校生、大学生の二つのグループと行き合ったが、平日なので、山はとても静かだった。

10時45分に石老山山頂に着く。山頂からは展望は良くないが、落葉した木々のあいだから真っ白の富士山が見えた。早めのお昼をとり、11時20分下山開始。1時間ほど歩くと相模湖が一望できる大明神展望台に到着。展望台を出た直後に道標が二つに分かれる。まっすぐは東海自然道とあり、下見の時に歩いてみたが、すり鉢の底のような暗い川沿いの荒れた道を歩くことになるのでお勧めしない。今回、もう一方の、鼠坂(ねんざか)・プレジャーフォレスト方面(チャレンジコースともいう)を選んでみたら、ずっと相模湖や中央高速を始め周りの山々の景色を堪能でき、ぜったいこちらのコースを選ぶべき!と思った。

予定より30分ほど早めに相模湖病院駐車場に到着。時間の余裕もあり、帰り道にファミレスに立ち寄り、みんなでお茶をすればし欲談を楽しみ本厚木で解散した。

今回新米CLが学んだこと: CLは道がくねっている場合はともかく、最後尾のメンバーの姿が常にみえているくらいの速度を保って歩くことを心掛けるべし。速く歩けるわけではないのだが、ゆっくり歩いてほんとに難しい。せっちな性格に加え、立ち止まって景色や自然を堪能する感性も欠如しているようだ。これは致命的。

次回は全体を見渡せる余裕をもち、皆が快適に感ずるペースで登山をたのしめるようになりたいものだ。

全長10.9キロ、標高差登り595m、下り616mを6時間かけて歩いた。特に危ない場所もなく、登山道は整備され、道標も設置され、道迷いの心配もない。適度なアップダウンが続き、足慣らしにお勧めのお山だった。